

まちの姿4

まち “きらきら”

分野11 農林水産業

分野12 商工業

分野13 観光



農林水産業



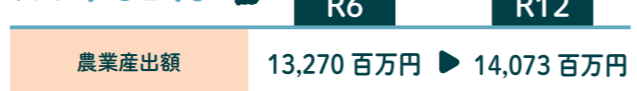
目指す姿

担い手により地域の農林水産業が活性化し、「稼げる農林水産業」の実現によって持続可能な経営が行われています。

さつま町のいま

- 豊富な自然資源を生かして、さまざまな農林水産物が生産されており、ブランド化も進んでいます。
- 新規就農者や後継者の減少、遊休農地や有害鳥獣による被害への対策が課題となっています。
- 担い手の育成とともに、新たな技術の活用を進め、効率的で持続可能な仕組みづくりが必要です。

成果指標



- 進捗管理指標**
- 認定農業者数（経営団体）
 - 町内直売所での販売額
 - 新規就農者数（認定新規就農者を含む）
 - 担い手（認定新規就農者・認定農業者）の農地利用集積面積

- 関連計画**
- 過疎地域持続的発展計画
 - さつま町建設計画
 - 食育・地産地消推進計画
 - 森林整備計画
 - 鳥獣被害防止計画
 - 特定間伐等促進計画
 - DX推進計画
 - 農山漁村再生可能エネルギー法に基づく基本計画
 - 農林業いきいきプラン
 - 6次産業化推進戦略

1 施策の方向性

全国に誇れる畜産のまちを目指します

- 畜産物の生産者に対する支援や畜産物の品質向上に向けた支援を行います。
- 伝染病や家畜の疾病への対策を行い、安全で安定した生産体制構築を支援します。

まちのみんなのできること

- 地域の畜産について理解を深めましょう。

2 施策の方向性

豊かで美しい山林・竹林を保全します

- 事業者や地域と連携し、山林・竹林の整備を行うとともに、有害鳥獣対策に取り組みます。
- 山林や竹林、里山の環境が保つ機能を守るため、地域による保全管理の支援や再生林の推進など、森林の循環利用に取り組みます。

まちのみんなのできること

- 地域で山林や里山の保全、鳥獣害の防止に取り組みましょう。

3 施策の方向性

豊富な農林畜産物の販売促進に取り組みます

- 農林畜産物のブランド化や販売促進、生産者や町内の事業者と連携した6次産業化の推進に取り組みます。
- 農産物直売所での販売など、地域と連携した産業の活性化に取り組みます。

まちのみんなのできること

- 町内産の農林畜産物を積極的に購入し、みんなで味わいましょう。

4 施策の方向性

農林水産業の持続可能な経営を支えます

- 先進技術の導入による作業の効率化や省力化、品質の向上を推進するとともに、農地の有効利用を推進します。
- 農林水産業を営む従事者が、経営を継続できるよう支援するとともに、新たな担い手の確保に取り組みます。
- 国や県、関係機関と連携し、農地をはじめとする農業基盤施設の管理・整備を行います。

まちのみんなのできること

- 農林水産業を新たに始める人を地域の人々で支えましょう。

●新たな技術の活用など、効率的な経営について情報を集めましょう。

分野
12 商工業



目指す姿

働く環境や挑戦ができる環境が整い、誰もがいきいきと働くことで、にぎわいのあるまちになっています。

さつま町のいま

- 創業や就業に関する支援を通じた町内で働くことへの支援や、企業誘致や町内企業の振興を通じた働く環境の整備を進めています。
- 担い手や町内の働き盛り人口の流出により、商工業全体の活力の低下が課題となっています。
- 働き手の確保・定着や町内製品の販路開拓を通じて、にぎわいのあるまちづくりが必要です。

成果指標



- 進捗管理指標**
- 転入者・新卒者就労支援事業による新卒者数
 - 商工業新規参入者数
 - 薩摩のさつま認証品数
 - ふるさとさつま応援寄附金寄附額

- 関連計画**
- 過疎地域持続的発展計画
 - さつま町建設計画
 - D X推進計画
 - 導入促進基本計画
 - 6次産業化推進戦略

施策の方向性
1 まちのにぎわいづくりを進めます

- 起業・創業の支援を通じて、若者や女性による小規模ビジネスや活躍の場を創出し、町内で新たにチャレンジできる環境を整えます。
- 中心市街地をはじめとする町内の事業者の情報発信や活用促進を通じて、認知度向上と消費促進に取り組みます。
- 中心市街地や地域において、誰もが気軽に集い交流するにぎわい拠点づくりを進めます。

- まちのみんなのできること
- 町内のお店を積極的に利用しましょう。
 - 事業者は地域ならではの付加価値やアイデアで、魅力的なお店づくりに取り組みましょう。

施策の方向性
2 誰もが働きやすい環境を整えます

- 町内企業の連携による既存企業の活性化を進めるとともに、企業誘致によるまちの商工業の基盤強化を進めます。
- 町内の高校と企業との連携によるキャリア教育や、UIJ ターンの促進、町内の企業へ就職する人への支援を行います。
- 性別や町内外在住にかかわらずさつま町で働きたい・働きやすい雇用環境の実現に向けた啓発や、就労に向けた支援を行います。
- 都市部からの外部人材である地域おこし協力隊等を活用し、町内伝統産業の後継者確保や若い世代や女性などの働く場づくりを進めます。

- まちのみんなのできること
- 町内の仕事について、興味を持ち、働いている人と交流しましょう。
 - 職場体験などを通じて、地域と事業者とのつながりを持ちましょう。
 - 事業者は働きやすい環境整備を進めましょう。

施策の方向性
3 魅力あるさつまの逸品を町内外に発信します

- ふるさと納税制度などさまざまな機会を通じて、「薩摩のさつま」ブランドを中心とする町特産品の販路拡大やサービス、体験の機会創出に、町内の農林業や商工業、観光業等と連携して取り組みます。
- 地域おこし協力隊など町内外の人材を活用し、「薩摩のさつま」ブランドの推進やまちの魅力の効果的な情報発信を行います。

- まちのみんなのできること
- さつま町の魅力的なお店や商品を積極的に発信しましょう。

分野 13 観光



目指す姿

まちの資源を活用し、町民みんなでさつま町の魅力に誇りを持ち、町内外に発信することで、たくさんの人に「さつま町らしさ」が広まり、訪れています。

さつま町のいま

- 観光や特産品に関するブランディングやイベントの開催に取り組んでおり、さつま町への来訪者の増加や認知度の向上が進んでいます。
- 環境の整備や人材の不足など、訪れる人を受け入れる体制をどのように維持していくかが課題となっています。
- 町内だけでなく広域とも連携した、観光振興に向けた取り組みが必要です。

- 進捗管理指標**
- 温泉入込客数
 - スポーツ等コンベンション利用者数

成果指標

	R6	R12
年間交流人口	100万人 ▶	105万人
観光宿泊者数	81,775人 ▶	90,000人



- 関連計画**
- 過疎地域持続的発展計画
 - 観光振興基本計画
 - さつま町建設計画
 - 食育・地産地消推進計画
 - DX推進計画

施策の方向性

1 訪れる人を迎える環境を整えます

- 町内の事業者や関係機関と連携し、公園や観光施設、旅館をはじめとする町内の宿泊施設の充実に取り組みます。
- 観光にかかわる関係機関などと連携した情報共有や観光案内所の活用など、町内を周遊しやすい環境を整備します。
- 多言語に対応した観光情報発信など、インバウンドにも対応できる環境を整備します。

まちのみんなのできること

- 地域の清掃活動などに参加し、街並みや自然の景観を保ちましょう。
- さつま町を訪れた人と交流し、魅力を伝えましょう。

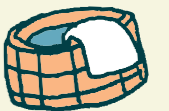
施策の方向性

2 みんなでさつま町の魅力を町内外に発信します

- 町内の観光コンテンツの持続的なあり方と、魅力化について関係機関も交えて検討を行い、ブランディングを進めます。
- 特産品だけでなく、人や文化、歴史など、多様なアプローチを進め、さつま町を知り、つながるといった関係人口の創出に取り組みます。

まちのみんなのできること

- 自分が思うさつま町の好きなところを、積極的に発信しましょう。



施策の方向性

3 豊富な資源を活用し、さつま町を訪れる機会をつくります

- 町内の企業や団体と連携したイベントの開催など、町民も一緒に楽しめる機会をつくります。
- 充実したスポーツ施設を活用し、スポーツ合宿の誘致を推進します。
- 広域で連携しながら町内外にさつま町の魅力を発信し、北薩地域全体での知名度の向上を進めます。
- 食や特産品、伝統工芸などの体験事業化を進めることで、町民や町内事業者と町外の人とのつながりをつくり、関係人口の創出に取り組みます。

まちのみんなのできること

- 訪れた人だけでなく、自分たちも楽しめる観光コンテンツを考えてみましょう。
- 家族や友人を誘って、イベントに参加しましょう。